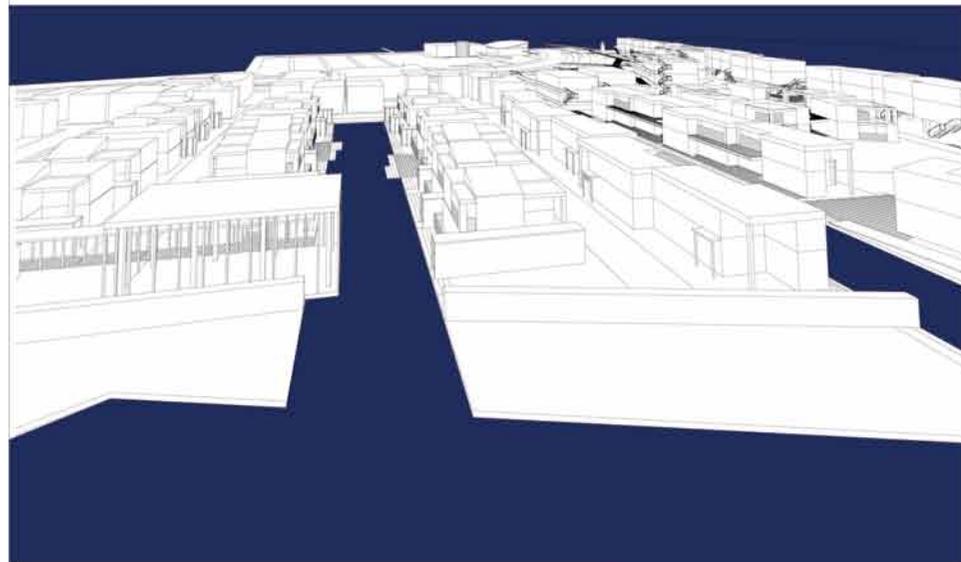


# Sea Side Town ~海を感じる場所~



## Location

### 広域調査

敷地及びその周辺の現状を調査し気づいた点を以下にまとめる。

- ・港側周辺は緑地に樹木が少ない。
- ・港側周辺はトラックが多いため道路の幅が広い。
- ・青果物市場は道路側に出入り口があり、港側から侵入できない。
- ・漁港で釣りをしていた子供たちがいた。
- ・敷地内の公園は緑野などの環境面で快適な空間ではなかった。(調査で子供たちが遊んでいたことが一度もなかった)
- ・防災センターは普段地域住民の交流の場として解放されている。

### 敷地紹介

対象敷地： 三重県津市港町  
 用途地域： 近隣商業地域  
 容積率： 300%  
 建ぺい率： 80%  
 敷地面積： 26000 m<sup>2</sup>

敷地特徴

- ・対象となる敷地は南から西側にかけて水域に面している。
- ・対象地の東側にフェリーターミナル、西側には漁港がありその敷地をまたいだ奥に市場がある。
- ・敷地の水域に面する部分には防波堤があるため、敷地内の川から水域を望める部分に限られている。
- ・岩田川の河口付近であるため緩衝空間となっていて通過交通はきわめて少ない。

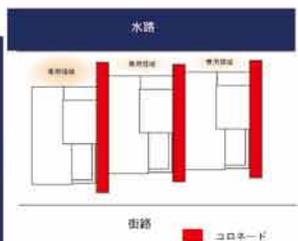
広域図 S = 1 : 1000



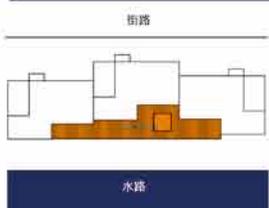
## Design

### Block A

街路側から水辺側へ  
コロネードを通すこと  
で、空間が区切られ、  
住戸専用の領域が生ま  
れる。また住戸が水路  
に面しているため個人  
用ボートを所有し、水  
上をボートで行き来す  
ことができる。

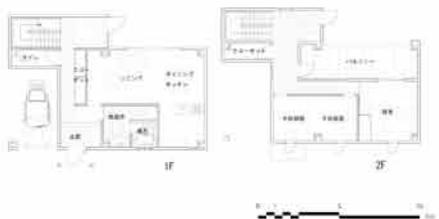


### Block B



2層部分にデッキを  
設け、住戸のCOMMON  
スペースとすることによ  
り2階のレベルから水  
面を望むことができる。  
またこのCOMMONス  
ペースを通して、住戸同  
士の関係が親密になる。

Block B Unit plan S=1:100

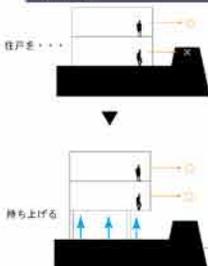


### Block C

防災センターは音境、主  
に高齢者が交流の場として  
利用していることを考慮  
し、高齢者向けの住戸を防  
災センターと公園を囲むよ  
うに配置する。  
高齢者向けの住戸とい  
うことで1階レベルで生活が  
一通り行えるように配  
置し、2階は子世代の家族が  
遊びに来たときのための居  
間を設ける。



### Block D



住戸からの視界を重複し1層  
部分をピロチとし、2、3階  
を住居とする。また一番眺望  
のよい南部分に、客間と居間を配  
置する。  
また住居のそばを通るプロム  
ナードデッキからは住戸の中が  
見えないように配慮する。

Block D Unit plan S=1:100



### Block E

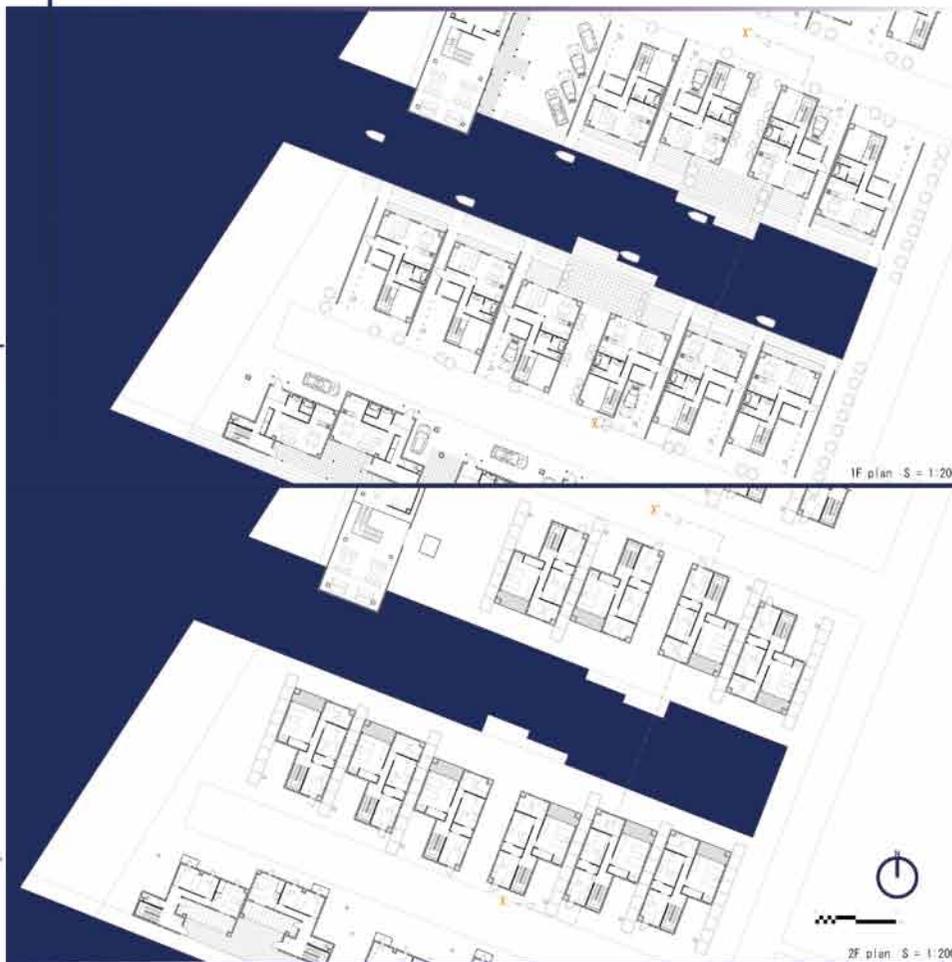
Block E Unit plan S=1:100

立体的に段々状の形状をとること  
や住棟と堤防をつなぐデッキを設  
けることにより築側に対して開いたよ  
うな造形を表現する。また一番高  
くなる部分の屋上に展望スペースを  
設けることにより、海や近隣の住宅を  
一望できる。



Block E elevation S=1:200

## Plan 1



Block A north elevation S=1:200



X-X' section S=1:200

